

羽曳野市学校図書館ニュース 第24号

令和元年 12月発行：羽曳野市学校司書会

「羽曳野市学校図書館ニュース」のアンケートにご協力頂き、ありがとうございました。
アンケートの結果を受けて、興味関心の1番多かった「先生が教室で使える本」の紹介をします。
また、アンケートを踏まえて、学校図書館や本を活用したくなるような内容を意識して作成していきたいと考えています。
これからも、学校図書館ニュースをよろしくお願い致します。

『勇気 COURAGE』

バーナード・ウェーバー

／文・絵

日野原重明／訳

ユーリーグ



学年問わず、何度でも読めます。

こちらも→

『ぼちぼちいこか』

マイク・セイラー／さく

ロバート・グロスマン／え

いまえよしと／訳 偕成社

学級びびきに



高学年や、中学生に。
宿泊行事前にも。

『そんな友だちなら、いなくたっていいじゃないか！』

齊藤孝のガツンと一発シリーズ第3巻』

齊藤孝／著 PHP 研究所



『ぼくはなきました』

くすのきしげのり／さく

石井聖岳／え

東洋館出版社



友達や家族のいいところはすぐ思いつく。でも、自分のいいところは？



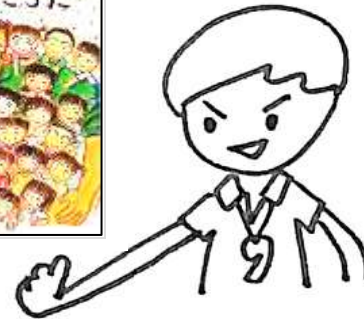
『教室はまちがうところだ』

蒔田晋治／作 長谷川知子／絵

子どもの未来社



「教室で読みたい」と借りていられる先生が多いです。
付録に、教室での詩の群読方法の記載あり。



先生が教室でつかえる本！

『いえでぼうや』

灰谷健次郎／文

理論社



空いた時間に少しずつ読むのに丁度良いです。
続きが気になる楽しいお話。



『夢をかなえるゾウ』

水野敬也／著

飛鳥新社



自身が読まれて面白かった本を紹介されるのも良いですね。

すきまじかんびに

『ただしいもちかたの絵本』

WILL子ども知育研究所／編著

すみもとななみ／絵

金の星社



給食の前に、学習時に、工作の時に、
歯磨き、掃除の指導にと学校生活の色々な
場面で活用できます。

『おはなしどうぶつえん』

さいとうしのぶ／著

PHP 研究所



動物園への遠足の前に。
1話が短く、読みやすいです。

『うえきばちです』

川端誠／著

B L 出版



昔話と、有名な絵本を
交互に読むのもおすすめです。



『おちのじかんにきたとら』

ジュディス・カー／著

童話館出版



目の不自由な人は世界を
どう見ているのか。
点字学習や高学年の道徳の
授業で活用できます。

『目の見えない人は世界を
どう見ているのか』

伊藤亜紗／著
光文社新書



『みえるとかみえないとか』

ヨシタケシンスケ／さく
伊藤亜紗／そうだん
アリス館



『1日5分！教室で使えるコグトレ
困っている子どもを支援する認知トレーニング122』

宮口幸治／著
東洋館出版社

学習面・社会面・身体面で困っている児童
生徒へのトレーニングに。
全122ワーク。コピーして使えるワーク
シートが付いています。



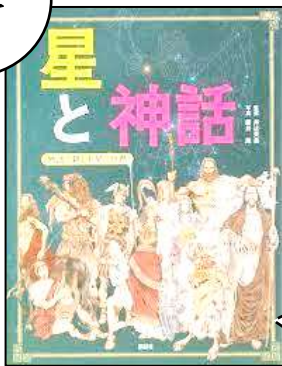
教科でも

先生が教室で
つかえる本！



この本をきっかけにヨシタケさんがストーリーを
考え、伊藤さんに相談されて作成されました。
視覚・聴覚・バリアフリーの授業前の、先生の
事前学習に、まえがきの4ページを読むだけでも
発見があります。

理科



『星と神話 物語で親しむ星の世界』

井辻朱美／監修 藤井旭／写真
講談社

星の単元に入る前と、学習中の
読み聞かせに。
星への興味付けによいです。

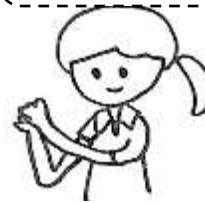
国語



あきやただし／著
PHP研究所

『まめうしくんとあいうえお』

1年生のひらがな学習の時期に
ぴったりです。



食育

『季節の食べものクイズ絵本 12ヵ月』



角槇作／絵
月刊「学校給食」編集部／文
全国学校給食協会

季節の話題に。
給食センターの先生が教室で
食育のお話をするときにどうぞ。



算数



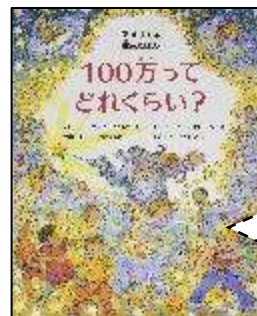
『九九をとねえる王子さま』

はまのゆか／作
あかね書房

かけざんの学習が終わったところに。
「4のだんをはやくちで」「6のだんを
うたうように」など、子どもといっしょに
九九をとねえて楽しめます。

『100万ってどれくらい？』

デビット・M・シュワルツ／作
スティーブン・ケロッグ／絵
文研出版



子どもたちが、大きい数を
数字のままではイメージしに
くいときに。



『このよでいちばんはやいのは』

ロバート・フローマン／原作
天野祐吉／翻案 あべひろし／絵
福音館書店

6年生の「速さ」の単元のときに。
「想像力」とは何かを考えるきっかけ
にもおすすめです。